

## 各種委員会活動報告

### 広報委員会

委員長 染矢 聡 (産業技術総合研究所(AIST))

#### 1. 委員会構成

委員長 染矢 聡<sup>2</sup> (AIST)

幹事 片岡 秀文<sup>2</sup> (大阪府立大学)

委員 (継続)

田中 三郎<sup>2</sup> (日本大学)

寺岡 喜和<sup>2</sup> (金沢大学)

永野 幸秀<sup>2</sup> (九州大学)

宮田 一司<sup>2</sup> (九州大学)

委員

福留 功二<sup>1</sup> (立命館大学)

富樫 憲一<sup>1</sup> (青山学院大学)

#### 2. 委員会開催

##### 2.1 メール審議 (～3月31日)

議題：第95期の活動計画，ニュースレターNo.80, No.81, No.82～84の作成について。

- ・ニュースレターの月初発行を定着させるため，年間の作業スケジュールを詳細に議論。
- ・WEBサーバー内のファイルの整理，ホームページの更新，英語版の更新について。
- ・ニュースレター関連作業(WEB, TEDPlaza 原稿収集，書式統合，校正，その他の記事の収集管理等)の作業分担について，多くのメール審議を行った。

##### 2.2 第1回 広報委員会 (第93期&94期合同委員会)

日時・場所 5月24日(火)，伝熱シンポジウム会場内会議室

議題：引継，第94期活動計画確認，ニュースレターNo.79～81について

##### 2.3 第2回 広報委員会 (幹事と委員長のみ)

日時・場所 10月17日，大阪府立大学なかもずキャンパス

部門 WEBサーバーと英文WEBについて

- 1) 英文WEBの作成範囲の検討，作成についての打合せ。
- 2) HTMLの構造をわかりやすく修正。編集しやすいよう変更することとし，実施内容について検討。
- 3) 古いファイルの整理。削除。
- 4) 第3回広報委員会日程に関する打合せ。

#### 3. 活動報告

##### 3.1 ニュースレター発行

・部門ニュースレターのNo.79(9月号)，No.80(12月号)を配信しHPにて公開済み。No.81(4月号)は，発行準備をほぼ完了。各号担当者は，No.79：田中委員，寺岡委員，No.80：福留委員，永野委員，No.81：宮田委員，富樫委員。

・広報委員会での議論を経て，発行スケジュールの通年マニュアル化を完了。

・幹事，委員長以外の各委員の編集にかかる負担を抑えつつ，記事の手配，調整に注力できるようなスケジュールと分担を明確にし，低負荷で内容の質と量や統一書式の維持を達成できている。

### 3.2 部門ホームページの更新・維持管理

部門ホームページのコンテンツを常時、最新の情報に更新する。部門の概要、委員長挨拶、委員会名簿、行事予定、部門賞、新着情報掲載等の項目の維持管理を行う。

- ・WEB/HTML の整理を完了した。HTML に明るくなくても担当可能と思われる状況に至っている。
- ・英文ページ作成を完了した。

### 3.3 インフォメーションメール

学会インフォメーションメールによる情報配信を行った。IM 配信権限は、部門長、部門幹事、広報委員長が持っている。2016 年度 4～9 月の熱工学部門登録者向け配信数は 60 件。10～2 月末までの配信件数は 30 件。

### 3.4 部門専用のレンタルサーバー

継続して、部門独自ドメイン (ted-jsme.jp) をプロバイダ (さくらインターネット) と契約し、総務委員会、運営委員会等のメーリングリスト (添付ファイル可) として利用した。

## 4. 95 期委員会構成

95 期広報委員会を以下のメンバーで構成することとした。

委員長：染矢 聡<sup>3</sup> (AIST) 幹事：片岡 秀文<sup>3</sup> (大阪府立大)，  
委員：福留功二<sup>2</sup> (立命館)，富樫憲一<sup>2</sup> (青山学院大)，江目宏樹<sup>1</sup> (芝浦工業大学)，  
大徳忠史<sup>1</sup> (秋田県立大学)，早川晃弘<sup>1</sup> (東北大学)，福江高志<sup>1</sup> (岩手大学)

	配信日	配信元組織	タイトル
1	2017/2/24	動力エネルギーシステム	<a href="#">【3/10に締切延長】第22回動力・エネルギー技術シンポジウム講演募集</a>
2	2017/2/17	設計工学・システム	<a href="#">No.17-24講習会「設計における革新・着想とその具現化」開催のご案内</a>
3	2017/2/15	環境工学	<a href="#">「第30回環境工学連合講演会」開催のご案内</a>
4	2017/2/11	熱工学	<a href="#">「自動運転に関する分野横断型研究会」への参加のお願い</a>
5	2017/2/10	動力エネルギーシステム	<a href="#">【重要】ICONE25 会期変更のお知らせ【2017年7月2日-6日】</a>
6	2017/2/9	環境工学	<a href="#">【締切延長2月24日】No.17-9 第27回環境工学総合シンポジウム2017 講演...</a>
7	2017/2/9	設計工学・システム	<a href="#">No.17-24 講習会「設計における革新・着想とその具現化」開催のご案内</a>
8	2017/2/3	動力エネルギーシステム	<a href="#">動エネシンボ講演申込み：受付開始のお知らせ【2/24(金)迄】</a>
9	2017/2/2	流体工学	<a href="#">第9回日韓熱流体工学会議 (TFEC9@沖縄) 申込締切延長 (~2/15)</a>
10	2017/2/1	環境工学	<a href="#">International sorption heat conference 2017 (ISHPC2017)「講演募集」...</a>
11	2017/2/1	熱工学	<a href="#">熱工学部門英文学術誌 Journal of Thermal Science and Technology (JTS...</a>
12	2017/1/20	環境工学	<a href="#">No.17-9 第27回環境工学総合シンポジウム「講演募集」のご案内</a>
13	2017/1/19	熱工学	<a href="#">PSFVIP-11 (11th Pacific Symposium on Flow Visualization and Image P...</a>
14	2017/1/19	環境工学	<a href="#">【まだ間に合います！】空気調和・冷凍連合講演会 講演募集のお知らせ</a>
15	2017/1/10	環境工学	<a href="#">No.17-9 第27回環境工学総合シンポジウム「講演募集」のご案内</a>
16	2016/12/15	流体工学	<a href="#">第9回日韓熱流体工学会議 (TFEC9) 2017/10/28-30@沖縄のご案内</a>
17	2016/12/14	環境工学	<a href="#">No.16-180「山梨県の再生可能エネルギー及び次世代エネルギー施設」見...</a>
18	2016/12/14	マイクロ・ナノ工学	<a href="#">【今週末開催】マイクロ・ナノ工学国際シンポジウム (MNST2016, 12/16-1...</a>
19	2016/12/8	エンジンシステム	<a href="#">講習会「No. 16-160 環境規制の実質化と次世代パワートレイン技術」開...</a>
20	2016/12/1	熱工学	<a href="#">熱工学部門ニュースレターNo.80発行</a>
21	2016/11/18	マイクロ・ナノ工学	<a href="#">マイクロ・ナノ工学国際シンポジウム (MNST2016, 12/16-18) のお知らせ</a>
22	2016/11/4	流体工学	<a href="#">No.16-147講習会 流体とインフォーマティクス～最適化、統計データ分析で...</a>
23	2016/10/29	設計工学・システム	<a href="#">No.16-168講習会「1DCAE概念に基づくものづくり設計教育(第八弾)：1DC...</a>
24	2016/10/27	流体工学	<a href="#">FSSIC2017 (4th Symposium on Fluid-Structure-Sound Interactions and...</a>
25	2016/10/25	環境工学	<a href="#">No.16-159「大気圧プラズマの産業応用に関する特別講演会」のご案内</a>
26	2016/10/18	環境工学	<a href="#">No.16-158 「(株)富山環境整備 見学会」のご案内</a>
27	2016/10/17	動力エネルギーシステム	<a href="#">【10/31締切延長】ICONE25論文投稿募集のご案内</a>
28	2016/10/13	動力エネルギーシステム	<a href="#">原子力発電プラントの進歩に関する国際会議 (ICAPP2017) アブストラク...</a>
29	2016/10/4	設計工学・システム	<a href="#">No.16-168講習会「1DCAE概念に基づくものづくり設計教育(第八弾)：1DC...</a>
30	2016/10/4	動力エネルギーシステム	<a href="#">【締切延長】講習会「見学会付」海洋エネルギー利用技術研究開発の最前線</a>

以上

## 部門賞委員会

構成員：藤田修（委員長）、花村克悟（部門長）、高松洋（前部門長）、小宮敦樹（委員会幹事）、  
齊藤卓志（前委員会幹事、オブザーバー）

### 1. 委員会の開催

#### 第1回部門賞委員会

日時：2016年5月13日（金）14:30-15:00

場所：キャンパスイノベーションセンター（田町） 7階710会議室

議事：委員会の年間予定と推薦手続きの確認

#### 第2回部門賞委員会

日時：2016年7月8日（金）13:30-15:00

場所：キャンパスイノベーションセンター（田町） 7階710会議室

議事：フェロー候補者の選考、部門賞・部門一般表彰候補者募集案内、講演論文表彰と  
若手優秀講演フェロー賞の推薦依頼

#### 第3回部門賞委員会

日時：2016年10月7日（金）13:00-15:00

場所：キャンパスイノベーションセンター（田町） 7階710会議室

議事：部門賞及び部門一般表彰（貢献表彰）候補者の選考

#### 第4回部門賞委員会

日時：2017年1月27日（金）13:00-15:00

場所：東京工業大学 大岡山キャンパス EEI棟6階611会議室

議事：部門賞及び部門一般表彰、若手優秀講演フェロー賞候補者の決定

### 2. フェロー候補者の推薦

- (1) フェロー候補者の推薦について、当期の熱工学部門の組織推薦定数は2名であること、組織推薦定数を超えた推薦は一般推薦枠として審議されること、前期の推薦人数が組織推薦3名、一般推薦2名であったことを踏まえ、組織推薦定数2名に加えて、一般推薦2名の計4名を推薦することに決定。
- (2) 前期の候補者をふまえて、委員長と幹事は約50名の候補者リストを作成(6月末から7月上旬)。
- (3) 幹事は、そのリストを（幹事を除く）3名の部門賞委員会委員に送り、そのリストからあるいはリスト外から委員推薦の候補者を加えて4名を選び、幹事あてに投票するように委員に要請。
- (4) 幹事は投票結果を集計し、その結果をもとに第2回部門賞委員会で各種状況を勘案し、部門推薦定数2名と一般推薦定数2名を審議・決定した後、第2回総務委員会に諮った(7月8日)。
- (5) 幹事より、総務委員会で同意が得られた推薦候補者に、部門推薦の候補者となってもらえるよう依頼（推薦書自体は候補者が作成）(7~8月)。
- (6) 委員長・部門長・幹事は、最終的に推薦書を取りまとめ、学会フェロー選考委員会へ推薦書を送付(9月20日)。

### 3. 部門賞、部門一般表彰（貢献表彰）候補者の推薦

- (1) 運営委員会構成員に対し第1回運営委員会にて推薦依頼。7月末に部門ホームページに推薦依頼を掲示。また、インフォメーションメールで部門登録会員全員に推薦依頼。〆切9月23日。
- (2) 第3回部門賞委員会（10月7日）で部門賞・部門一般表彰候補者案の策定。
- (3) 第4回部門賞委員会（1月27日）で候補者を決定。第4回総務委員会に附議・了承。
- (4) 運営委員会に代行運営委員会（メール審議）として附議・承認。学会理事会に報告(3月末日)。
- (5) 部門賞候補者の推薦代表者を通じて連絡（部門賞委員会委員長名にて）。幹事は候補者に推薦書の最終確認およびHP用写真の送付を依頼。

- (6) 写真が届いた後、部門 HP で公表予定（前年までとは異なり平成 27 年度からは熱工学コンファレンス開催を待つことなく公開可とした）。贈賞は平成 29 年 10 月末に開催される The Ninth JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference (TFEC9)（沖縄）にて実施の予定。
- (7) 永年功績賞等受賞者のうち常勤職を退職されている等の方々に対しては、授賞式出席のための旅費を部門から支出予定。

#### 4. 若手優秀講演フェロー賞候補者の推薦

- (1) 年次大会（九州大学）および熱工学コンファレンス（愛媛大学）の実行委員会に推薦を依頼（それぞれ 8 月下旬，9 月中旬）。なお，依頼時に「評価プロセス手順」「評価フォーム」を合わせて送付し，年次大会については「部門横断セッション」での評価対象とする発表を事前に検討・選定してもらうように依頼。
- (2) 第 4 回部門賞委員会において，推薦のあった若手優秀講演フェロー賞候補者（年次大会から 1 件，熱工学コンファレンスから 2 件）を審議・承認。
- (3) 運営委員会に代行運営委員会（メール審議）として附議・承認。学会理事会に報告（3 月末日）。部門 HP に公表予定（本件も早めの公開とする）。贈賞は平成 29 年 10 月末に開催される The Ninth JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference (TFEC9)（沖縄）にて実施の予定。

#### 5. 部門賞・部門一般表彰・若手優秀講演フェロー賞

##### [部門賞]

永年功績賞 岡崎 健 氏  
国際功績賞 Sang Yong Lee 氏  
研究功績賞 小林 秀昭氏  
技術功績賞 田崎 豊 氏  
業績賞 店橋 護 氏

##### [部門一般表彰]

貢献表彰 野村 信福 氏  
保浦 知也 氏

##### [若手優秀講演フェロー賞]（4 名）（○印が登壇者（受賞者））

- 渡辺 耕介（長大），梅本 翔平，近藤 智恵子，小山 繁（九大），水戸岡 豊  
「低沸点作動流体と超親水沸騰面を有する電子機器冷却デバイス」
- 松尾 剛志（九大工），小関 悠太郎（九大工），田中 学（九大工），渡辺 隆行（九大工）  
「水プラズマのアーキ制御による廃棄物分解の高効率化」
- 橋本 清路（岐大院），高橋 周平（岐大工）  
「金属アルミニウム粒子の連続燃焼技術の確立」

## 学会賞委員会

委員長 村田 章 (東京農工大学)  
幹事 大宮司 啓文 (東京大学)

### 1. 選考方法

- 1) これまで同様に、推薦・自薦を問わず受け付けた。  
・委員長宛てのメールでの申請とした。
- 2) 委員による審査結果を基に、委員長と幹事が候補者を決定し、委員の意見聴取を経て部門長の了承後に学会へ提出。(委員長,幹事,他委員9名)

### 2. 選考スケジュール

5月13日	委員会委員の委嘱
6月1日	候補推薦依頼の学会メール(1回目)(締切6月22日(水)) 熱工学部門全会員
6月23日	候補推薦依頼の学会メール(2回目)(締切1週間延長して6月29日(水)) 熱工学部門全会員
7月1日	学会賞委員会委員に審査資料送付
7月17日	審査締切
7月20日	委員長・幹事で候補者(案)の決定
7月20日	委員に候補者(案)を送付。意見・異議受付
7月22日	意見締切
7月22日	部門長と候補者(案)について打合せ。熱工学部門からの推薦者決定
7月22日	審査結果の通知。被推薦者には最終資料を作成依頼
7月26日	最終資料(推薦書)を部門長に提出
7月27日	部門長よりJSME表彰部会へ全ての書類を発送

### 3. 選考結果

日本機械学会賞(論文)	推薦件数	3件
日本機械学会賞(技術)	推薦件数	0件
日本機械学会奨励賞(研究)	推薦件数	4件
日本機械学会奨励賞(技術)	推薦件数	0件
日本機械学会教育賞	推薦件数	0件
日本機械学会賞(技術功績)	推薦件数	0件

## 年次大会委員会

委員長：小原 哲郎（埼玉大学）

幹事：櫻井 毅（首都大学東京）

### 2017 年度年次大会

開催日時：2017年9月3日（日）～6日（水）

開催場所：埼玉大学（埼玉県さいたま市桜区下大久保 255）

キャッチフレーズ：「120年の伝統と革新の調和～より広く、より深く、より豊かに～」

大会テーマ：「エネルギー・環境」、「超高齢社会を支える技術」、「オープンイノベーション」

#### 1. オーガナイズドセッションのテーマ募集、決定

熱工学部門共催オーガナイズドセッション（7件） 参考 2016年7件

（○：筆頭幹事部門）

J033 「電子情報機器，電子デバイスの強度・信頼性評価と熱制御」

（○材料力学部門，熱工学部門，計算力学部門）

オーガナイザー：木下 貴博（富山県立大学），畠山 友行（富山県立大学），池田 徹（鹿児島大学）

J051 「熱・流れの先端可視化計測」

（○流体工学部門，動力エネルギーシステム部門，熱工学部門，バイオエンジニアリング部門，エンジンシステム部門とのジョイント OS）

オーガナイザー：森 英男（九州大学），村井 祐一（北海道大学），小原 弘道（首都大学東京），石野 洋二郎（名古屋工業大学），武居 昌宏（千葉大学）

J052 「乱流における運動量，熱，物質の輸送現象およびその応用」

（○流体工学部門，熱工学部門とのジョイント OS）

オーガナイザー：田川 正人（名古屋工業大学），加藤 健司（大阪市立大学），廣田 真史（三重大学），河原 源太（大阪大学），店橋 護（東京工業大学）

J053 「マイクロ・ナノスケールの熱流体現象」

（○流体工学部門，熱工学部門，マイクロ・ナノ工学部門とのジョイント OS）

オーガナイザー：米村 茂（東北大学），小原 拓（東北大学），山口 浩樹（名古屋大学），新美 智秀（名古屋大学），鈴木 雄二（東京大学）

J061 「分散型エネルギーとシステムの最適化」

（○熱工学部門，動力エネルギーシステム部門，計算力学部門，環境工学部門とのジョイント OS）

オーガナイザー：天野 嘉春（早稲田大学），小原 伸哉（北見工業大学），西村 顕（三重大学），君島 真仁（芝浦工業大学），千田 二郎（同志社大学），田部 豊（北海道大学），佐々木 正信（東京電力エナジーパートナー(株)）

J062 「燃料電池・二次電池とマイクロ・ナノ現象」

（○熱工学部門，流体工学部門，マイクロ・ナノ工学部門，動力エネルギーシステム部門，材料力学部門とのジョイント OS）

オーガナイザー：鹿園 直毅（東京大学），徳増 崇（東北大学），大島 伸行（北海道大学），近久 武美（北海道大学），花村 克悟（東京工業大学），橋田 俊之（東北大学）

J241 「医工学テクノロジーによる医療福祉機器開発」

（○医工学テクノロジー推進会議，機械力学・計測制御部門，流体工学部門，計算力学部門，バイオエンジニアリング部門，ロボティクス・メカトロニクス部門，情報・知能・精密機器部門，材料力学部門，熱工学部門，マイクロ・ナノ工学部門，機素潤滑設計部門とのジョイント OS）

オーガナイザー：高木 周（東京大学），陳 献（山口大学），葭仲 潔（AIST），白石 俊彦（横浜国立大学）

## 環太平洋熱工学会議委員会

委員長： 店橋 護（東京工業大学）

幹事： 深淵康二（慶応義塾大学）

### 1. 第2回環太平洋熱工学会議の開催時期・開催会場の決定

第1回学会期中に行われた日米韓関係者間の打合せに基づき、第2回学会議は日本機械学会（JSME）、米国熱流体工学会（ASTFE）および大韓民国機械学会（KSME）の共催で、2019年中に開催する方向で、米国ハワイ州内の会場候補を調査した。

十分な会議施設（講演会場10室前後）を有し、適正な宿泊費（会議レート宿泊費200ドル前後）で、十分な宿泊数（期間中250室前後/日）が確保できることを条件に、ハワイ州内のほぼすべての会場候補ホテルを調査した結果、

開催期間：2019年12月13日（金）～12月17日（火）

- ・12月13日（金） レジストレーション、ウエルカム・レセプション

- ・12月16日（月） バンケット

（通常ならば、12月13日日本発、13日ハワイ着、18日ハワイ発、19日日本着）

会場候補：米国ハワイ州マウイ島 ハイアット リージェンシー マウイ リゾート&スパ

- ・講演会場：10室以上

- ・会議レート宿泊費：税込200ドル/日+ポーター代11.50(+TAX)

- ・リゾート費（通常税別30ドル/日）：無料

- ・ブロック可能数：250室/日（12月14日～17日）

- ・講演会場費：上記宿泊数+飲食120,000ドルで無料

のみが、2019年内に開催可能な会場及び期間であることが判明した。講演会場不足、あるいは宿泊料が高額となるため、この他に候補会場は存在しなかった。同時期に他の2団体より同ホテルにオファーがある状況であることを鑑み、上記の会期及び会場で第2回環太平洋熱工学会議を開催することとした。

### 2. 国際会議開催届けの提出及び予算書

2016年10月31日までに仮契約を行い、見積額の25%の予約金（約64,000ドル、返金不可）を納入しなければ、仮予約がリリースされることから、本会本部に添付資料1のような国際会議開催届けを提出し、理事会承認を得た。これと並行して、会議請負業者が予約金の立替払いを行った。国際会議開催届けの理事会承認により、国際会議会計が開始されるため、この予約金は来期の本会本部予算より請負業者に支出される。なお、国際会議開催届け提出時に予算書を併せて提出する必要があることから、暫定的な予算書（添付資料2）を作成した。なお、下記の現地視察の結果等を踏まえて、予算計画を適宜修正される予定である。

### 3. 組織委員会の構成

米国ASTFE側および韓国KSME側のco-chairの選出を依頼したが、現段階ではKSME側のco-chairの選出が完了している。

KSME co-chair: Prof. Yongchan Kim, Korea University

### 4. 現地視察

2017年1月13日～14日に、予定会場の現地下見を行った。参加者は、委員長、幹事、会議請負業者（2名）の合計4名。講演会場は最大14室確保できることを確認し、レジストレーション、ウエルカム・レセプション、バンケット等の会場等についてホテル関係者と打合せを行った。

## JSME-KSME 合同会議委員会

熱工学部門 丸田 薫 (東北大学)

2017 年 日韓機械学会合同・熱流体国際会議  
The Ninth JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference, 2017  
(<http://tfec9.org/>)

### 1. 開催日時および議長・共同議長

日時： 2017 年 10 月 28 日～10 月 30 日  
場所： 沖縄コンベンションセンター (沖縄県宜野湾市)

Chair： 武居昌宏(千葉大学)  
Prof. Man Yeong HA, Pusan National University  
Co-chairs： Prof. Deog Hee DOH, Korea Maritime & Ocean University  
丸田 薫(東北大)  
Secretary general: 深潟康二 (慶應義塾大学) : FED 設定 (2016/10 新設)

### 2. 2016 年度の活動

- ①2016/3/31 TFEC9 第一回幹事会@信濃町
- ②2016/6～ 旧 OS 案の整理と再編 (FED と DTE の国内講演会ベース) 新 OS 案  
旧案オーガナイザ・両部門への説明と新案承認依頼  
同内容の韓国側との調整・確定  
IAC メンバーと LOC メンバーの調整 (追加)
- ③2016/6/8 事業収入 FED/TED で 50/50 とした
- ④2016/7～ TED 側 OS 企画・調整
- ⑤2016/10 TFEC9 組織改編 (2nd Flyer 記載の内容へ) HP 修正  
フライヤーによる広報 (熱工学コンファレンスはじめ,  
10+の会議, 及び FED, TED 両部門に各 500 部)
- ⑥2016/11～ アブストラクト受付開始
- ⑦2016/12～ メールによる広報  
ジャーナル特集号企画 (JFST-TFEC9)
- ⑧2017/1～ OS オーガナイザ連絡体制構築, 審査手順構築
- ⑨2017/2～ 特集号 (JTST-TFEC9) Chief-Editor 鈴木雄二 (東京大学)  
アブストラクト〆切延期 (～2/15), 受付終了  
会場下見 (会議場, レセプション会場)
- ⑩2017/3～ アブスト査読完了 (Accept 593 件)

### 3. 懸案事項

優秀講演表彰 (会場, 時間枠), 協賛学会



## JTST 委員会

委員長： 門脇 敏（長岡技術科学大学）  
幹事： 山田 昇（長岡技術科学大学）

### 1. 掲載状況（2017年3月5日現在）

Vol. 1、	No. 1 (pp. 1~41) :	4 件
	No. 2 (pp. 42~148) :	9 件
Vol. 2、	No. 1 (pp. 1~133) :	12 件
	No. 2 (pp. 134~300) :	15 件
Vol. 3、	No. 1 (pp. 1~166) :	16 件
	(2007 日米熱工学会議特別号: Guest Editor=花村 克悟 (東京工業大学))	
	No. 2 (pp. 167~380) :	17 件
	No. 3 (pp. 381~551) :	15 件
Vol. 4、	No. 1 (pp. 1~201) :	17 件
	No. 2 (pp. 202~323) :	11 件
	No. 3 (pp. 202~436) :	14 件
	(第7回日韓熱流体工学会議特別号: Guest Editor=近久 武美 (北海道大学))	
	No. 4 (pp. 437~517) :	8 件
	(第2回国際伝熱フォーラム特別号: Guest Editor=中別府 修 (明治大学))	
Vol. 5、	No. 1 (pp. 1~188) :	15 件
	No. 2 (pp. 189~341) :	11 件
Vol. 6、	No. 1 (pp. 1~202) :	17 件
	No. 2 (pp. 203~322) :	12 件 (Preface を含む)
	(第7回国際流体力学会議特別号: Guest Editor=圓山 重直、小原 拓 (東北大学))	
	No. 3 (pp. 323~485) :	13 件
Vol. 7、	No. 1 (pp. 1~349) :	27 件
	(うち10件は第3回アジア計算熱流体シンポジウムからのセレクトドペーパー: Guest Editor=須賀 一彦 (大阪府立大学)、芝原 正彦 (大阪大学))	
	No. 2 (pp. 350~404) :	6 件 (Preface を含む)
	(第8回国際流体力学会議特別号: Guest Editor=圓山 重直、小原 拓 (東北大学))	
	No. 3 (pp. 405~496) :	9 件
	(第4回マイクロスケール熱流体国際会議特別号: Guest Editor=高橋 厚史(九州大学)、鹿園 直毅 (東京大学))	
	No. 4 (pp. 497~766) :	19 件
Vol. 8、	No. 1 (pp. 1~335) :	23 件
	No. 2 (pp. 336~447) :	10 件 (Preface を含む)
	(第9回国際流体力学会議特別号: Guest Editor=圓山 重直、小原 拓 (東北大学))	
	No. 3 (pp. 448~612) :	12 件
Vol. 9、	No. 1 (JTST1~5) :	5 件
	No. 2 (JTST6~15) :	10 件
Vol. 10、	No. 1 (JTST1~20) :	20 件 (2 件の Review Paper を含む)
	No. 2 (JTST21~28) :	8 件
Vol. 11、	No. 1 (JTST1~19) :	19 件 (2 件の Review Paper を含む)
	No. 2 (JTST20~33) :	14 件
	No. 3 (JTST34~49) :	16 件 (Preface を含む)
	(First Pacific Rim Thermal Engineering Conference 特集号: Guest Editor=須賀 一彦 (大阪府立大学))	
Vol. 12、	No. 1 (JTST1~6) :	6 件 (1 件の Review Paper を含む)

## 2. 編修委員会

Editor-in-Chief : 門脇 敏 (長岡技術科学大学)

Editors : 浅野 等 (神戸大学、日本伝熱学会推薦)、北川 敏明 (九州大学)、櫻井 篤 (新潟大学)、大宮司 啓文 (東京大学)、高橋 周平 (岐阜大学)、田川 正人 (名古屋工業大学)、西岡 牧人 (筑波大学)、花村 克悟 (東京工業大学)、宮崎 康次 (九州工業大学)、山田 昇 (長岡技術科学大学)

Advisory Board : 高田 保之 (九州大学)、佐藤 勲 (東京工業大学)

## 3. 第 94 期特記事項

- 日本機械学会学術誌としてのあり方について：  
日本伝熱学会と共同編集を行っていることから、当面は独立英文誌として編集する。
- Review Paper について：  
ジャーナル活性化の一環として、熱工学分野の第一人者に Review Paper をご執筆いただき、年間 2~3 編程度を掲載する。掲載料については、熱工学部門が負担する。今期は 1 編を掲載している。
- アクションプランについて：  
日本機械学会の新ビジョンに向けたアクションプランについて、本ジャーナルにおいても策定を進める。
- Impact Factor について：  
Impact Factor を高めるように努める (当面は 1 程度を目指す)。  
これまでの Impact Factor は、2015 年 0.611, 2014 年 0.536, 2013 年 0.495, 2012 年 0.239, 2011 年 0.176 である。
- 特集号について：  
The 9th JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference (TFEC9) の特集号を予定している。鈴木 雄二 (東京大学) が担当する。
- 来期の Editor-in-Chief について：  
新 Editor-in-Chief として、山田 昇 (長岡技術科学大学) が就任する。

## 年鑑委員会

委員長 小原 拓 (東北大学)  
幹 事 元祐 昌廣 (東京理科大学)

2017年8月に電子版にて公開予定の「機械工学年鑑」の執筆者を2016年4月に以下のとおり決定し、2017年1月18日付けで学会の担当者大黒氏に連絡するとともに、執筆者に執筆要綱及びテンプレートを送付した。2017年1月18日に事務局から正式な執筆依頼と執筆要項が執筆者に送付された。原稿締切日は2017年4月21日であり、2016年6月中旬に原稿の査読を終了する予定である。

### 2017年「機械工学年鑑」 執筆者リスト

章節項	名称	内容	割当頁	執筆者氏名	勤務先名	所属
委員長		査読		小原 拓	東北大学	流体科学研究所
幹事		査読		元祐昌廣	東京理科大学	工学部機械工学科
8.1.1	伝熱 および 熱力学	概説	2000字程度	佐竹信一	東京理科大学	基礎工学部 電子応用工学科
8.1.2		熱物性	2000字程度	山田雅彦	北海道大学	大学院工学研究科 人間機械システム デザイン専攻
8.1.3		伝熱	2000字程度	芝原正彦	大阪大学	大学院工学研究科 機械工学専攻
8.1.4		熱交換器	2000字程度	麓 耕二	弘前大学	理工学部 機械科学科
8.2.1	燃焼 および 燃焼 技術	燃焼	3000字程度	中村祐二	豊橋技術 科学大学	大学院工学研究科 機械工学系
8.2.2		燃焼技術 ・燃料	3000字程度	岡崎輝幸	三菱日立 パワー システムズ 株式会社	研究所 火力システム 研究部 燃焼研究グループ

## 出版委員会

委員長 高橋周平 (岐阜大学)  
幹事 藏田耕作 (九州大学)

### 1. 委員会構成

委員長 高橋 周平 (岐阜大学), 幹事 藏田 耕作 (九州大学)  
委員 伊藤 衡平 (九州大学), 下栗 大右 (広島大学), 濱本 芳徳 (九州大学)

### 2. 活動内容

ウェブサイトの雛形は完成しており、現在 6 コンテンツが掲載されている。投稿方法などの簡便化を図って再度過去のギャラリー出展者に呼びかけたが、想定されたコンテンツの収集は進んでいない。原因として、前回の熱工学ギャラリーから時間が経過してしまい、コンテンツ自体が散逸してしまっており、また、新たな作品もあまり期待できないことが考えられる。このことから、今後は同様の作品展示イベントに注意を払いながらコンテンツ充実を目指す一方で、従来通りの紙媒体での出版活動にも視野を広げ、その可能性を排除しないこととした。

### 3. 委員長の交代

95 期より現幹事の藏田 耕作氏 (九州大学) に委員長をお願いすることとした。

## 講習会委員会

委員長 田部 豊 (北海道大学)  
幹事 鈴木 崇弘 (大阪大学)  
委員 森本 賢一 (東京大学)  
委員 塚原 隆裕 (東京理科大学)

### 活動計画

#### 1. 部門講習会

内容 : 「伝熱工学資料」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用

開催日 : 2017年9月28日(木), 29日(金)

場所 : 日本機械学会会議室

題目・講師(敬称略):

##### 1日目(9月28日(木))

全体を見渡す話 花村 克悟 (東京工業大学)  
伝導伝熱の基礎 岩井 裕 (京都大学)  
対流伝熱の基礎 西野 耕一 (横浜国立大学)

##### 2日目(9月29日(金))

熱放射の基礎 花村 克悟 (東京工業大学)  
熱交換の基礎 鹿園 直毅 (東京大学)  
沸騰熱伝達の基礎 上野 一郎 (東京理科大学)  
温度測定 中村 元 (防衛大学校)

#### 2. ワークショップ

日韓熱流体会議での開催は困難と判断し、2017年度は休止とさせていただきたい。

検討内容: 前回の運営委員会で日韓熱流体会議での開催を唯一の実施方法として検討することとなっていたが、関係者と相談させていただいた結果、日韓熱流体会議の趣旨にそぐわない等の理由から休止という結論に至った。ただし、2018年度の再開に向けて、次期講習会委員会への協力(テーマ選定等について)はさせていただきたい。